

人生はその人の持つ勇氣の量に応じて、
広がりもするし縮んだりもするのです。

Life shrinks or expands in proportion to one's courage.

——アナイス・ニン※

※Anais Nin(1903-1977)…フランス人女性作家。11歳から死の直前まで60年以上に渡り書かれた日記を出版したことで有名。



◆ 学校説明会報告

【川越東】100余年の歴史を持つ星野学園を母体に設立された創立35年を迎える男子校です▼同校の最も大きな特徴は附属中学校を持たないことです。近年、多くの私立高校が生徒を早めに確保することと、6年間かけて大学受験のための実力をつけることを目的に附属中学をつくってきました。実際、埼玉のトップ進学校の合格実績を見ると中入生と高入生では前者の方が圧倒的に良い実績をあげているようです▼川越東は全生徒が同じスタートラインです。3年間で全生徒を大学受験に導くシステムがあります。こうした点は中入生と高入生が混在している学校と比べると大きなアドバンテージがあると思います▼また、文武両道を実践していることも同校の特色です。部活加入率は80%以上です。去年完成した地面からミストが出る人工芝グラウンド、日本一大きな体育館を始め、体育施設は体育大学並みだそうです。運動部、文化部を問わず全国大会に行く部活もたくさんあります▼夏休みはお盆の時期を除き、ずっと夏期講習があり、午前中は部活動禁止で勉強に専念させられます▼埼玉3大田舎高校と言われ、周りは田んぼに囲まれていて、最寄りの駅はありません。その代わりに、東上線沿線などから無料のスクールバスが出ています▼年間広告費は0円で、その分、学費は安く抑えているそうです。寄付金もありません。講師は80名で、非常勤講師は7名です。通塾率は1~2割だそうです▼大学合格実績は国公立大学は79名で、前年の59名、前々年の58名と比べるとずいぶん伸びています。私立大学合格者は、例えば早稲田大学は45名ですが、これはのべ人数で実人数は20名とのことでした。つまり、川越東に入っても実際に早稲田に受かる生徒は浪人を入れても卒業生468名中20名位だということです。ただ、川越東を滑り止めにしていて、県立川越高校の早稲田の合格者が浪人を入れてのべ70名ほど（実数は半分以下）だということを考えると、悪くない数字なのかなと思います▼ちなみに国公立大学は一人で複数の学部や大学に受かることはできないので、合格者の人数は実人数になります。校長の星野昭先生は実直な人柄で、お話も具体的でわかりやすく、良い学校にしたいという意欲が感じられました。お勧めしたい学校のひとつです。（下山）

【淑徳】ときわ台にある、近年実績を伸ばしてきている共学の進学校です▼もともとは女子校で、仏教思想による情操教育を中心としていましたが、共学化、特進クラス・スーパー特進クラス・東大選抜クラス（中学入試のみ）の設置など進学校としての改革を進めてきました▼放課後の補習や季節講習など学校での講座が充実していて、面倒見の

良い学校と言えます(高3の通塾率は30%)。またパンフレットの表紙に「上質な教育空間」と書かれている通り、6年ほど前に建て替えられた校舎はきれいで、最新に近い設備が整っています。これは公立高校にはない、私立ならではの魅力でしょう▼実績については、ここ数年安定して50名ほどの国公立大合格者を出しています。ちょうど西武文理と同じくらいという感じですが、今年50名のうち47名は現役生です。説明会では特に言及されなかった点ですが、これはもっとアピールしてもよいのになと思いました。私大については「早慶上理」にのべ118名が合格しています。他の学校でもこういうくくりをしているところがありますが、早慶と理科大の入試難度を同列に扱うことはできません。最難関大に多く合格しているように見せるための見え見えの営業であり、個人的にはこういうのは好きではありません。(実際のところ早慶に進学したのは10名程度で、理科大は国立や早慶の滑り止めで受ける生徒が多いわけです)▼また説明会での話には「東大選抜をつかったのだから複数名の合格者を出さないと…」「社会に出てからも“エリート”として活躍するような人材を…」というものがあり、この辺も文理っぽくなってきたなど。あまり詳しくないのですが、エリート意識というのは仏教に合わないイメージを持っていました▼良し悪しはともかくとして、昔の淑徳とはまったく別の学校になっています。進学校として、併願中堅校の中では上位の学校になったと思います。距離的にも通いやすいですので、偏差値60台後半で共学の併願校を探す場合、有力な候補になるでしょう。(入部)

【東洋女子】 JR 巣鴨駅より徒歩7分。中学部のない高校だけの女子校です。全員を高校3年間だけで伸ばしていきます。併願の場合、成績の目安は総合進学5科17、特別進学5科20(偏差値は58)といったレベルです▼募集定員は150名となっていますが、在籍は1年72名、2年74名、3年98名です。都内の私学だと埼玉県の助成が受けられないという理由で埼玉からの入学者が減少しているそうです。その対策として「無償化プラン1000」という制度をつくりました。これは、世帯年収1000万円未満であれば、どの地域に住んでいても、どのコースに進んでも授業料を無償にする制度です。授業料以外の入学金(20万円)や施設維持費(12万円)などはかかりますが、魅力的な制度だと思います▼2015年より全教室と体育館に電子黒板を導入、タブレット端末も一人一台使えるようにし、電子黒板と連動させて授業で活用しています。教科横断型の授業など、さまざまな工夫もしています。▼放課後補習や夏期・冬期・春期の集中補習があります。中学時からの総復習、基礎定着補習、進学補習などです。無料のものから外部の予備校講師を招いた有料補習(週1回80分、年間20回の講座で4万円)まであります▼専任の教員は30名、非常勤は40名です。予備校や塾に通っている生徒は、総合進学コースで1~2割、特進コースで4~5割だそうです▼おとなしい生徒が多いそうです。少人数の授業で、発表する場も与えられるので積極的に参加できると思います。中学時代、自分を主張できなかった子も、こういう環境なら自分の可能性を広げられるような気がします。(加藤)

◆ 行事予定

□ 9/2 中3北辰テスト

□ 9/3 2学期授業開始

□ 9/30 第5回中3北辰テスト(8/30-9/8に受験料4600円を持ってきてください。今回の偏差値も入試相談会の貴重な資料となりますので必ず全員が受験してください)【編集/加藤】

☑ 台風・地震などの天災により休講する場合はホームページにその旨を掲載します。